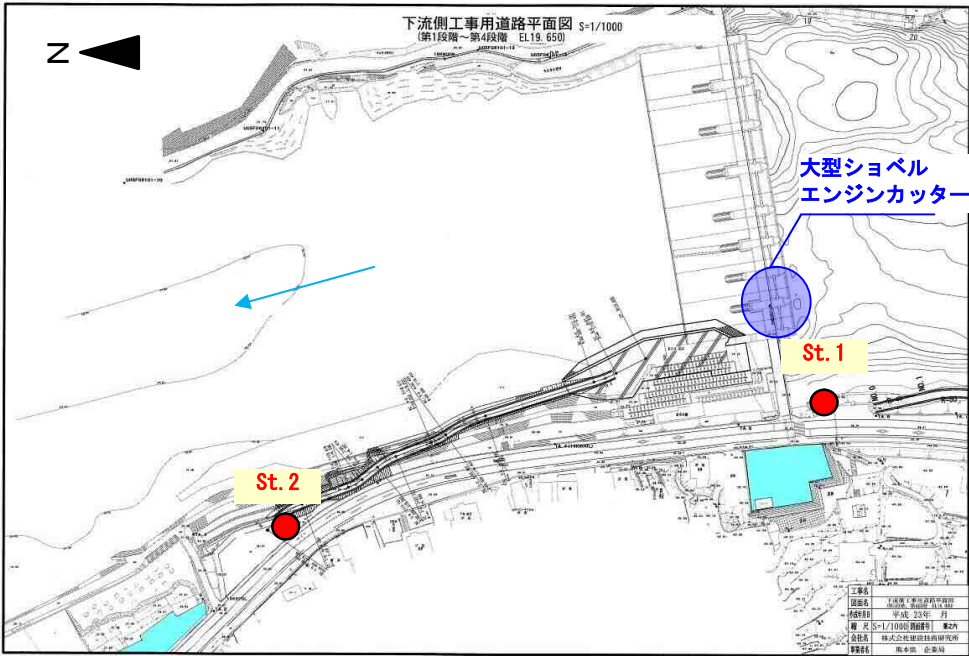


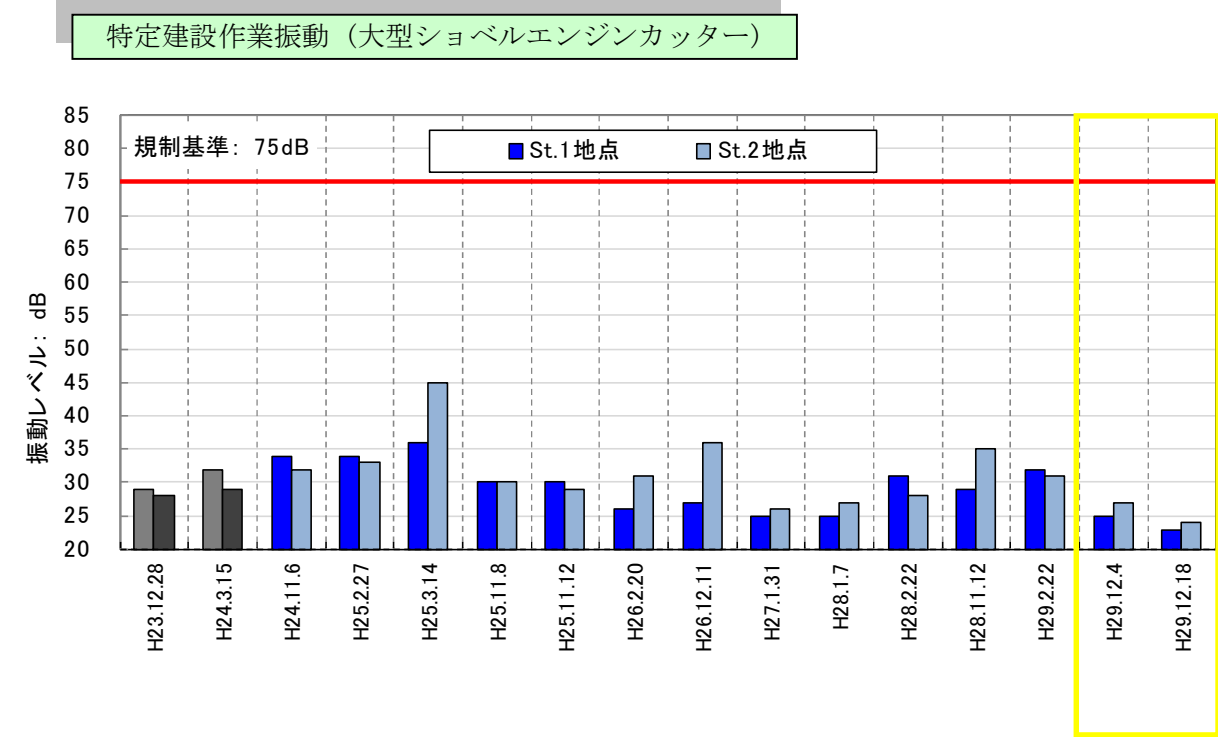
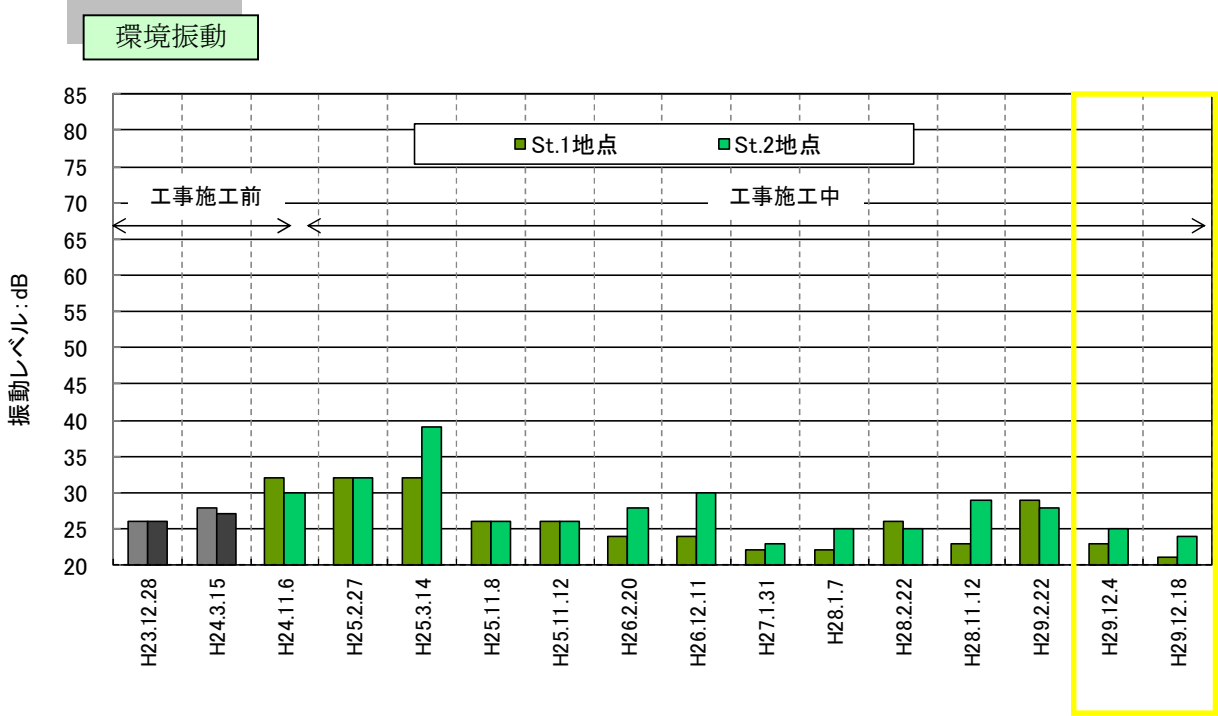
3) 振動

【参考資料 I -311 参照】

評価項目	視点	平成 29 年度の調査結果概要	評価概要
工事振動の影響	・ 工事前後の比較 ・ 振動規制法との照合	・ 環境振動は工事施工前 (H23 年度) が 26～28dB、工事施工中 (H29 年度) が 21～25dB ・ H29 年度の特定建設作業振動 (大型ショベルエンジンカッター) は 23～27dB	・ 環境振動は、工事施工前後で環境騒音に大きな変化は見られない。 ・ 特定建設作業振動は、基準値 75dB を下回る値であった。



調査実施日	調査対象		調査地点	備 考
	環境振動 (6:00～22:00)	建設振動 (対象工種)		
H23.12.28	○	—	St.1、St.2	工事施工前
H24.3.15	○	—	St.1、St.2	工事施工前
H24.11.6	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.2.27	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.3.14	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.9.11	—	発破	St.1、St.2	試験施工
H25.11.8	○	鋼矢板打設	St.1、St.2	特定建設作業
H25.11.12	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H26.1.27	—	発破	St.1、St.2	
H26.1.31	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.7	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.10	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.20	○	構造物取壊し、発破	St.1、St.2	特定建設作業
H26.12.8	—	発破	St.1、St.2	
H26.12.10	—	発破	St.1、St.2	
H26.12.11	○	構造物取壊し、発破	St.1、St.2	特定建設作業
H27.1.29	—	発破	St.1、St.2	
H27.1.31	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H27.12.22	—	発破	St.1、St.2	
H28.1.7	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H28.1.14	—	発破	St.1、St.2	
H28.1.21	—	発破	St.1、St.2	
H28.1.29	—	発破	St.1、St.2	
H28.2.5	—	発破	St.1、St.2	
H28.2.19	—	発破	St.1、St.2	
H28.2.22	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H28.11.11	—	発破	St.1、St.2	
H28.11.12	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H28.11.30	—	発破	St.1、St.2	
H29.2.7	—	発破	St.1、St.2	
H29.2.22	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H29.12.4	○	堤体周辺の整備	St.1、St.2	特定建設作業
H29.12.18	○	堤体周辺の整備	St.1、St.2	特定建設作業



現地状況写真
(大型ショベルによる堤体周辺の整備作業取壊し)